トキアス管理組合 地区防災計画策定の取り組み

平成２８年３月１２日　地区防災計画フォーラム発表資料

地区概要

◆所在地：東京都荒川区南千住８丁目
◆竣　工：2005年3月(築11年)
◆規　模：地上20階建て･620戸･延床:58, 465㎡
◆居住者特性:全体で約2, 000名
　→70歳以上：　80名(59戸)
　　小学生　：206名(全校児童772名中26. 7%)
◆地区特性：防災拠点としての再開発地域
⇒リバーパーク汐入町会：37棟･4500戸･12000名
　100%集合住宅で戸建てが１軒もない。
⇒町会全体が東京都「地区内残留地区」指定
　※不燃化が進んでおり、万が一火災が発生しても、
　　地区内に大規模な延焼火災の恐れがなく広域的な
　　避難を要しない区域

トキアス管理組合の位置

これまでの取組概要①

［前提］町会の基本方針：防災拠点として発災時に
周辺住民１２万人の避難民を受け入れる。

◆マンション単独として何ができるか検討

⇩

◆立地的特性＝「交差点の角」にあることを考慮
➡隅田川花火大会の時に発災したら･･･［最悪のシナリオ］

４万人が帰宅困難者になる

⇩

トキアスとしても避難民･
帰宅困難者を受け入れる。

これまでの取組概要②

◆防災組織として自立する必要性

➡**自助の確立**＝住民の防災意識向上を目指す。

ほぼ毎月防災セミナーを開催＋防災だより発行

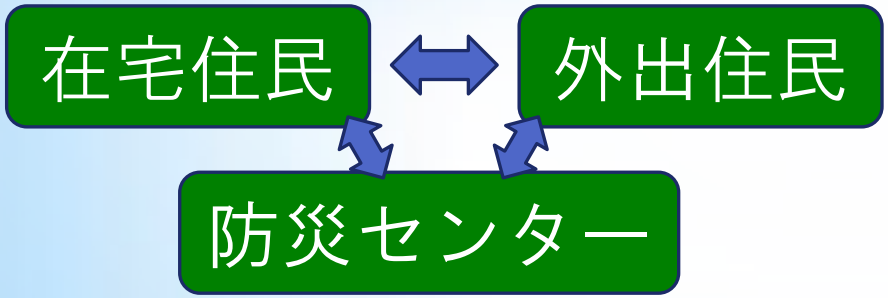
全戸防災アンケートにより意識調査

◆コミュニティ形成を目的としたイベント

年間10回前後開催**『トキアスall家族』**をスローガン

◆安否確認･災害情報共有にＩＴシステム導入

外出中の役員･住民同士がスマホ等で連絡が付く。



●コミュニティ形成には時間がかかる
●その時在宅している人だけで対応？
●情報発信でデマ･パニックを抑制
●離れた家族間の為の専用伝言板

行政の支援なしに運営できる体制を構築[町会全体]=防災特区構想